

設計水平震度の算出(H29)

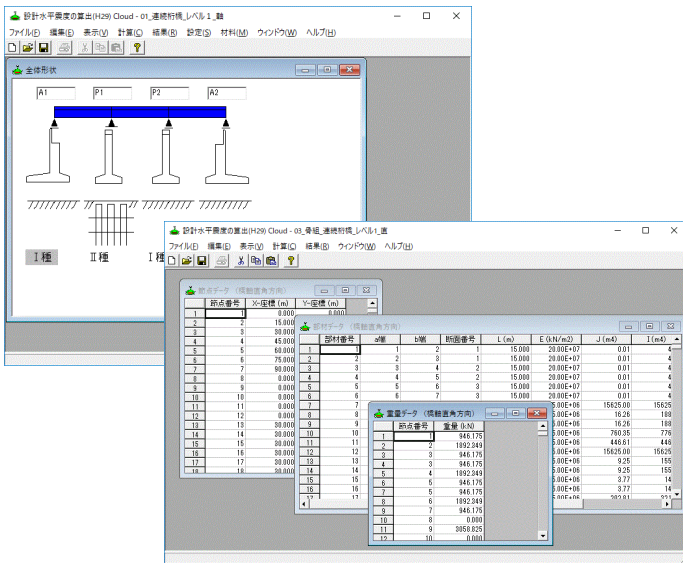
土木・建築設計計算 SUCCES

「道路橋示方書・同解説」（平成29年11月）に準拠し、下部構造の設計水平震度を算出します。1基下部構造や複数の下部構造からなる設計振動単位も自動的に判断し、設計振動単位ごとの固有周期、および下部構造の設計水平震度、慣性力を算出します。

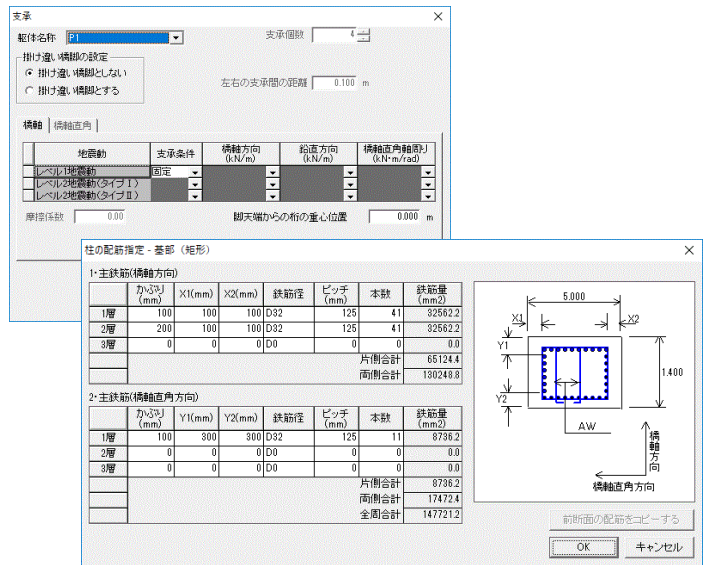
製品特長

プログラムの詳細

■上部工、下部工の寸法入力による指定形式入力と、橋梁を骨組モデルとして入力する任意形式入力を用意しています。



■降伏剛性は直接入力のほかに、柱形状、配筋データから自動計算することもできます。



■指定形式入力では、下部工の支承条件により自動的に設計振動単位を分割し、設計水平震度を算出します。

システムの適応範囲

切梁段数	<ul style="list-style-type: none"> 道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編（平成29年11月）（公社）日本道路協会 道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編（平成29年11月）（公社）日本道路協会 杭基礎設計便覧（平成19年1月）（公社）日本道路協会 		
上部構造	鋼桁	最大主桁本数 20本	
	RC桁	最大主桁本数 20本	
	RCコンクリート橋T桁	最大主桁本数 30本	
	RCコンクリート橋箱桁	多重箱桁 1室～4室 多室箱桁 2室のみ	
	RCコンクリート橋逆台形箱桁	室数 2室～5室	
	RCコンクリート橋中空床版橋	最大ボイド数 20個	
	任意桁（桁の断面定数を直接入力）		
下部構造	橋台	逆T式、半重力式、重力式	
	橋脚	はり平面形状	矩形、小判形
		柱断面形状	矩形、円形、小判形
	任意橋台、任意橋脚（骨組モデルとして入力）		

基礎種類	直接基礎	対応形状	矩形
	杭基礎	対応杭種	鋼管杭、PHC杭、SC杭、 場所打ち杭、 鋼管ソイルセメント杭、 回転杭
		最大地層数	20層
		杭列数	1×1～30×30列
	杭配置	正方配置、千鳥配置、 間引き配置、任意配置、斜杭	
	ケーソン基礎	対応形状	矩形、円形、小判形
	任意基礎（基礎のばね定数の直接入力）		
制限事項	（任意形式入力）		
	節点数	500	
	部材数	500	
	断面数	500	
	支点数	200	
	不連続部材数	100	
	接続ばね数	50	
	重量数	500	
	慣性力を考慮する部材数	31	

動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS	Microsoft Windows 11,10 ※Windows動作保証の最新情報は こちら	ハードディスク	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境
メモリ	OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境	ディスプレイ	1280×1024以上が表示可能なもの